

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	すまいるりんく		
○保護者評価実施期間	2025年 10月 1日		2025年 11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24 (回答者数)	20
○従業者評価実施期間	2025年 10月 1日		2025年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お出かけイベントや屋内イベント等を行い普段できない体験を提供できる。	外出時にお買い物経験や外部の人と関わり公共マナーへの配慮を経験出来るように考えています。 調理体験や外部講師を招いた屋内イベントなどを行いお家だけでは体験できないイベントを企画しています。	今後も定期的にイベントを企画して普段の療育では会えないお友だちの交流やプログラムが充実するように企画を行います。
2	季節の工作或や音楽療法、読書の時間を設けている。	手先のトレーニングや集中力、創造力を養うように毎月工作を行っています。音楽療法を行い音楽の特性を活用して心身の健康や生活の質を向上に努めています。	コンスタントに行えるようにプログラムを見直し座学の時間を設けてルーティン活動として出来るように取り組みます。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ご両親で対応くださるときに、お父さん、お母さんの片方にはお伝えしたが共有に至っておらず連携が取れていないことがあった。また伝えつもりが伝わっていないことがある。	こちらの意図が伝わっていたと認識していたがそうではなかった。話すよう点をまとめてお話が出来ていなかった。	グループラインを活用してご覧いただけるように行います。記録として残りますので後で見返せるようになります。要点をまとめて簡潔に伝えられるように指導します。
2	父母の会や保護者会、ペアトレ等の支援について	ご要望等が今までなく行ってこなかった。	ご要望があれば開催を企画し支援も行います。また好評であった保護者さんも参加できる季節のイベント等も企画し参加を促します。
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
すまいるりんく		2025年 12月 8日				
	チェック項目			工夫している点	課題や改善すべき点	
		はい	いいえ			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	マンション2部屋をリノベーションして通常より広い療育スペースを確保しました。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	適切に配置しております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1		説明はした上で利用をいただいているが教室が2階の為階段があります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	療育後に必ず清掃を行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	必要に応じて応接室や事務所で対応している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	課題や目標に対してチームで話し合い改善を行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	いただいたご意見は全体に共有し改善点を挙げ業務改善に努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	毎月社員会議を行い話し合う機会を設けています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5		第三者による外部評価を受けていません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	定期的な研修と動画研修、外部研修など必要に応じて研修の機会を設けています。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	掲載しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	日々様子も考慮し現場スタッフの意見も交えながら作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	お子さんに係るスタッフの意見も交えながら行っています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	保護者と指導員に共有して支援を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	保護者に共有する連絡ノート以外にも指導員間で共有するノートを使い分けて行っています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	送迎時や面談を通して保護者ニーズ伺い具体的な支援目標を立てて計画を行っている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	活動プログラムの立案等、指導員で企画を行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	イベントや外活動、制作など季節柄も合わせてプログラムを立案しています。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	個別での活動や集団活動などお子さんの特性を考慮し支援しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	その日利用するお子さんの情報交換や1日の流れを確認し連携して支援をしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	ヒヤリハット含めて職員間で共有しています。その日に出動していない職員については共有ノートを使い行っています。	イレギュラーがあった場合はその日ではないが翌日以降にまとめ、共有を行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	サービス提供記録に記載し支援を行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	随時行い、最低でも半年に一度行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0	個別支援計画書にも記載し支援を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	子どもたちの意見を尊重しています。支援内容をお子さん自身にも選んで活動が出来るように工夫しています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	管理者、児発管だけでなくそのお子さんを良く知る指導員も会議に参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	学校の先生初め関係機関と連携を図り支援をしています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	保護者さんより情報をいただき必要に応じて担任の先生から学校だよりをいただくなど連絡調整を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0	児童発達支援や相談員、保育園や幼稚園から情報共有しお子さんの支援に努めています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1	支援情報の提供は出来る体制を整えています。	現状高校卒業等の卒業生がおらず密に連携を図る事業所さんがいません。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1	必要に応じて地域の支援員さんや支援センターと情報共有を図る機会があります。	現状そのような機会がありません。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	1	大学生とのタイアップでイベントを行った。	ほとんど交流がありません。今後そのような機会がありましたら参加を検討します。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	1	必要に応じて参加しています。	ほとんど参加していません。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	送迎時やLINEやお電話にて様子を御伝えて情報共有を行っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	イベントによっては家族も参加していただけるプログラムも行っていきます。	ペアトレは行っていません。希望があれば対応いたします。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	見学や契約時にご説明をしています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	モニタリング以外にも随時行っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	署名前に説明を行い納得いただいたうえでサインをいただいている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	対面以外にも電話やlineで相談窓口を広げています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	2	イベントによってはご家族も参加していただけるプログラムもありそちらで交流を図っていただけます。	メインで父母の会等の活動は行っていません。ご要望が多い場合は検討いたします。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	窓口を設けて対応しています。発生した場合は直ぐに管理者に報告し迅速な対応を行います。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	インスタやYouTubeなど日頃の活動についてアップロードしています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	鍵付きのキャビネットで厳重に保管をしています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	ホワイトボードなど使い視覚情報で伝えたりなど、分かりやすく丁寧に行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2	地域のイベントに参加をしたりしています。	現状こちらのイベントで招待などしたことがありません。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	定期的に研修を行いマニュアルも用意しています。またその様子をSNSにもアップロードしています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	BCPを策定して必要な研修も行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0	見学时や契約前に利用者さんに確認して対応を行っています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	アレルギー対応のおやつを用意しています。昼食が必要な場合はご家庭で用紙をお願いしております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	安全計画を策定し訓練や研修を行っています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	事前にご説明を行い対応をしている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	事業所内で再発防止に向けた会議を行いヒヤリハットの共有を行う。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	グループで研修を行い、全スタッフに動画研修も行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	やむを得ない場合に備えて研修を行い、保護者さんにも同意を得ている。		